

第2日 11月24日(土)

— 第1会場 ホールB7(1) —

■ 9:00～11:20 ワークショップ5

「医療の質保証とプロフェッションの役割」

司会 自治医科大学 学長 高久 史磨
佐賀大学医学部附属病院 病院長特別補佐 小泉 俊三

第1部 特別発言と報告：医療の質と安全におけるプロフェッショナル・ソサエティの役割

- WS5-1 特別発言：専門家・学会の自己管理と使命感に期待する — 一患者からの期待
社会福祉法人 はばたき福祉事業団 理事長 大平 勝美
特別発言：“プロフェッション”とは？—ことばの意味を遡る
東京大学先端科学技術研究センター 特任教授 米本 昌平
- WS5-2 報告：変化する世界の医療専門職規制
金沢大学医学部附属病院総合診療部 総合診療内科 准教授 野村 英樹
- WS5-3 報告：医療の質・安全に関する各学会の取り組みの現状—アンケート調査報告—
京都大学医学部附属病院 医療安全管理室 医療安全管理室長 長尾 能雅
追加発言(座長)：「新ミレニアムにおける医のプロフェッショナルリズム憲章」について

第2部 パネル討議：プロフェッショナル・ソサエティによる質保証への取り組み

- WS5-4 心臓外科領域学会の医療の質への取り組み
名古屋大学大学院医学系研究科病態外科学講座心臓外科 教授 上田 裕一
- WS5-5 専門医の質と専門医制度：
日本専門医認定機構 副代表理事 吉村 博邦
- WS5-6 日本医師会生涯教育制度のボトムアップによる「かかりつけの医師」の質の担保
日本医師会 常任理事 飯沼 雅朗
- WS5-7 日本看護協会の医療の質・安全への取り組み
日本看護協会

第3部 診療適正審査と不適格者の処分・再教育のあり方

- WS5-2(続き) 報告：変化する世界の医療専門職規制(続き)—処分制度の現状について
金沢大学医学部附属病院総合診療部 准教授 野村 英樹
- WS5-8 特別発言：“プロフェッション”のオートノミーと医療専門職の質の担保
東京大学先端科学技術研究センター 特任教授 米本 昌平
- WS5-9 特別発言：弁護士会の登録審査と懲戒処分
東京弁護士会所属弁護士 高中 正彦

総合討論：プロフェッショナル・ソサエティの確立に向けて

■ 12:00～13:00 教育セミナー(5)

「安全にCVCを挿入するために～上腕PICC法～」

司会 高知医科大学(高知大学医学部) 名誉教授 小越 章平

- ES5-1 安全にCVCを挿入するために～上腕PICC法～For Safety CVC Insertion～PICC upper arm placement～
医療法人川崎病院 外科総括部長 井上 善文
共催：株式会社メディコン

■ 13 : 10~14 : 00 特別講演

「The Vision and Strategies of Patient Safety Initiatives in The U.S.」 ※英・日同時通訳あり

司会 Professor, Department of Cardiovascular Medicine Graduate School of Medicine and Faculty of Medicine, The University of Tokyo
Ryozo Nagai

SL-1 The Vision and Strategies of Patient Safety Initiatives in The U.S.

Former Senior Clinical Advisor, Centers for Medicare & Medicaid Services Stephen F.Jencks

■ 14 : 10~15 : 30 シンポジウム 2

World Now: Introduction of Safety Initiatives in Oversea Countries (Newzealand, Australia, Thailand, Malaysia and others) ※英・日同時通訳あり

司会 Professor, Division of International Health (Quality & Health System) Department of Public Health,
Graduate School of Medicine Tohoku University Naruo Uehara
Professor and Chair, Division of Health Policy and Health Services Research Department of Social
Medicine, Toho University School of Medicine Tomonori Hasegawa

SY2-1 Global overview of patient safety research

Research Tracks, World Alliance for patient safety research, WHO Takeshi Morimoto

SY2-1 50 minutes around the world

Deputy Director-General, Public Health Directorate Ministry of Health Don Matheson

Professor, School of Public Health La Trobe University Vivian Lin

Director, WHO Collaborating Centre for Health Systems Research Maimunah Hamid

Director, Institute of Hospital Quality Improvement & Accreditation Anuwat Supachutikul

Chief Executive, Picker Institute Europe Angela Coulter

International Classification Patient Safety Peter Hibberd

■ 15 : 40~15 : 55 ベストプラクティス表彰

■ 16 : 00~17 : 20 シンポジウム 4

「医療安全の目標と行動提案」

司会 自治医科大学 学長

高久 史磨

東北大学大学院医学系研究科社会医学講座国際保健学分野 教授 上原 鳴夫

SY4-1

東京大学医療政策人材養成講座 特任助教授 埴岡 健一

SY4-2

社団法人日本病院会 会長 山本 修三

SY4-3

日本医師会 常任理事 木下 勝之

SY4-4

日本看護協会

SY4-5 医療安全における臨床工学技士の役割

社団法人日本臨床工学技士会 会長 川崎 忠行

— 第2会場 ホールB7 (2) —

■ 9:00~10:20 ワークショップ6

「使用環境を考慮した医療機器の安全基準と安全管理体制」

- 司会 自治医科大学医学部医療安全学 准教授 河野龍太郎
- WS6-1 ヒューマンファクター工学に基づく安全な人間-機械システムの運用
自治医科大学医学部医療安全学 准教授 河野龍太郎
- WS6-2 医療現場からみた医療機器の安全な使用上の問題点
名古屋大学大学院医学研究科救急・集中治療医学講座 准教授 高橋 英夫
- WS6-3 医療機器安全使用のための中央管理体制の必要性
東京女子医科大学病院臨床工学部・ME 機器管理室 臨床工学技師主任 酒井 基広
- WS6-4 医療機器の保守に関わる人員数の問題点
北里大学医療衛生学部医療工学科臨床工学専攻 准教授 廣瀬 稔
- WS6-5 安全設計への取り組みと安全使用に向けて
テルモ株式会社 駿河工場開発課 課長 香澤 章雄
- WS6-6 医療機器のライフサイクルにおける理念と戦略
神奈川県健康福祉大学 教授 小野 哲章

■ 10:30~11:20 ワークショップ7

「放射線医療の安全」

- 司会 兵庫県立粒子線医療センター 院長 菱川 良夫
- WS7-1 放射線治療の安全システム
兵庫県立粒子線医療センター 院長 菱川 良夫
- WS7-2 「放射線業務の安全の質管理指針」と「同・管理マニュアル」：3団体合同プロジェクト班による策定
横浜市立大学附属市民総合医療センター放射線部 天内 廣
- WS7-3 国立大学病院放射線部門におけるインシデントの原因分析と改善について
全国国立大学放射線技師会／福井大学医学部附属病院) 副会長／放射線部技師長) 東村 享治
- WS7-4 「医療被ばく低減施設認定」の意義
社団法人日本放射線技師会 常務理事 諸澄 邦彦

■ 12:00~13:00 教育セミナー(6)

「より安全な中心静脈カテーテル留置の環境を求めて～CVセンター導入の背景と運営について～」

- ES6-1 より安全な中心静脈カテーテル留置の環境を求めて～CVセンター導入の背景と運営について～
司会 日本医科大学麻酔科学講座 主任教授 坂本 篤裕
東海大学医学部外科学系麻酔科 教授 鈴木 利保
共催：日本シャウウッド株式会社

■ 14:10~15:40 ワークショップ10

「急変時の緊急対応とRRT &肺塞栓症対策」

- 司会 獨協医科大学越谷病院 救命救急センター 池上 敬一
- WS10-1 わが国の周術期肺塞栓症の予防と対策
自治医科大学医学部 麻酔科学・集中治療医学講座 主任教授 瀬尾 憲正
- WS10-2 侵襲的処置に対する準備は万全か？～危険予測と緊急対応～
京都大学医学部附属病院初期診療・救急部 准教授 山畑 佳篤
- WS10-3
獨協医科大学越谷病院 救命救急センター 池上 敬一
- WS10-4 看護師を対象とした「患者急変対応コース」の開発
獨協医科大学越谷病院 救命救急センター 浅香えみ子

— 第3会場 ホールB5 (1) —

■ 9:00~10:00 一般演題⑧

座長 横浜市立大学医学部附属病院医療安全管理学 教授 橋本 勉生

- 0-41 医療現場のクレーム・苦情対応に関する患者実態調査
スナッジ・ラボ株式会社 前田 泉
- 0-42 愛知県医師会における苦情相談センター委員会の活動実態の解析
名古屋市立大学 宮治 眞
- 0-43 医療の質・安全に貢献するパブリック・コミュニケーション戦略の構築
中部日本放送 後藤 克幸
- 0-44 患者安全推進のための社会制度設計
自治医科大学附属病院 医療安全対策部 長谷川 剛
- 0-45 病院安全文化の構造モデルの分析
京都大学大学院医学研究科 社会健康医学系専攻 医療経済学教室 村上 玄樹
- 0-46 安全文化の醸成につなげる安全文化の測定
国立保健医療科学院政策科学部 種田憲一郎

■ 10:10~11:20 一般演題⑨

座長 千葉大学医学部附属病院総合医療教育研修センター 教授・センター長 田邊 政裕

- 0-47 臨床研修病院における医療安全活動の展開
京都大学大学院医学研究科医療経済学分野 福田 治久
- 0-48 初期研修医の医療安全教育のあり方 — 1年の経験で変容した医療安全意識と学習プロセス
北九州市立大学人間文化研究科人間文化専攻 城尾 裕子
- 0-49 研修医を対象にした医療安全教育を試みて — 酸素療法をテーマに—
特定特別医療法人 慈泉会 相澤病院 乾 静
- 0-50 初期研修医に対するシナリオベースのシミュレーション実習と実地研修の比較
虎の門病院腎センター 香取 秀幸
- 0-51 初期研修医に対する医療安全教育の重要性:「鉄は熱いうちに打て」の原則
自治医科大学さいたま医療センター医療安全管理室 遠山 信幸
- 0-52 研修医の業務量, 燃え尽き指数, QOL, 医師業務満足度の医療安全に対する影響
聖路加国際病院 堀之内秀仁
- 0-53 医療安全から見た、卒後臨床研修到達目標の再評価
国立保健医療科学院 政策科学部 石川 雅彦

■ 12:00~13:00 教育セミナー(7)

「隔離予防策 CDC ガイドライン 2007 に学ぶ—限られた資源で感染管理の質と効率を高める施設文化を作るために—」

司会 特定非営利活動法人 卒後臨床研修評価機構専務理事 岩崎 榮

- ES7-1 隔離予防策 CDC ガイドライン 2007 に学ぶ—限られた資源で感染管理の質と効率を高める施設文化を作るために—
群馬大学医学部保健学科 准教授/NPO 法人 EBIC 研究会 理事長 佐竹 幸子

共催:株式会社ニチオン

■ 13：00～14：10 一般演題⑩

座長 東京医科歯科大学 大学院 政策科学分野 教授
河原 和夫

- 0-54 地域医療は何か支えているか？ —職員満足度調査から見てきたもの—
JA 秋田厚生連平鹿総合病院 田畑 雅央
- 0-55 最近の医師調査等に見る外科医師の労働力
北海道大学大学院医学研究科医療システム学分野 中村 利仁
- 0-56 医師への接待、今まで触れられなかった問題～cleanな医師 —MR関係を構築する為の新規教育プログラムの開発とその開催結果～
名古屋大学医学部 大学院医学系研究科 病態内科学講座 血液・腫瘍内科学 杉浦 立尚
- 0-57 医療事故に遭遇した医療従事者の心的状況 —精神科病棟における検討—
筑波大学附属病院臨床医療管理部 高梨 典子
- 0-58 病棟別看護業務量と患者安全との関係
東北大学大学院医学系研究科医療管理学分野 金子さゆり
- 0-59 医師と看護師の協働とインシデントとの関連
自治医科大学看護学部 宇城 令
- 0-60 作業中断によるヒューマンエラーについてのアンケート調査とモデル化
電気通信大学 稲葉 緑

■ 14：20～15：30 一般演題⑪

座長 国立成育医療センター 薬剤部長 櫛田 賢次

- 0-61 末梢神経損傷防止への取り組み
公立陶生病院 仲川 明代
- 0-62 急性上気道感染に対する抗生物質処方の検討
国立がんセンターがん予防・検診研究センター検診技術開発部 東 尚弘
- 0-63 注射処方せん記載方法の院内標準化への取り組み
霧島市立医師会医療センター薬剤部 岸本 真
- 0-64 病棟における「配薬忘れ」防止に向けた当院の取り組み
成田赤十字病院 薬剤部 山中 千種
- 0-65 誤注射死亡事故後の10年にわたる誤注射防止の取り組み
南砺市民病院 片山 啓太
- 0-66 輸液確認業務の効率化～ミスを予防する環境づくりのために～
群馬県済生会前橋病院 塩原 寛子
- 0-67 当院のインスリン過剰投与防止対策及びその効果と問題点
岸和田徳洲会病院 武本 智尋

— 第4会場 ホールB5 (2) —

■ 9:00~9:40

一般演題⑫

座長 国立国際医療センター 副院長 清水 利夫

- 0-68 精神科病院の暴力事故に関する実態調査（第二報）～医療技術職以外の職員の体験や認識～
医療法人社団碧水会長谷川病院 河野 伸子
- 0-69 精神科病院での暴力事故に関する実態調査（第一報）～職員が体験した暴力事故の傾向～
医療法人社団碧水会長谷川病院 小田桐 隆
- 0-70 提言【病院内における自殺予防】
財団法人日本医療機能評価機構 河合 桃代
- 0-71 暴言・暴力対応指針の作成
愛知医科大学医学部呼吸器・アレルギー内科 山口 悦郎

■ 9:50~10:40

一般演題⑬

座長 自治医科大学医療安全対策部 教授 長谷川 剛

- 0-72 内視鏡下鼻内手術の手術手技スキルの遠隔指導システム
独立行政法人 産業技術総合研究所 熊谷 徹
- 0-73 適正な抗凝固剤の種類と使用量による血液透析の安全管理
広島国際大学大学院総合人間科学研究科医療工学専攻 後藤 朱里
- 0-74 持続的血液ろ過（CHF）安全実施のための講習会を開催して
北里大学病院 MEセンター 血液浄化部門 藤原 康作
- 0-75 リアルタイム超音波ガイドとX線透視を使用した腋窩静脈穿刺による中心静脈カテーテル挿入法の安全性と
確実性の改善
佐久総合病院 救命救急センター 渡部 修
- 0-76 CVC 挿入、胸腔チューブ挿入手技の安全教育トレーニングの試み
沖縄県立中部病院 上原 元

■ 10:50~11:30

一般演題⑭

座長 虎の門病院 医療安全アドバイザーシミュレーション・ラボセンター長 中西 成元

- 0-77 内視鏡下手術のための訓練用機器の開発と評価方法の検討
福岡大学工学部 森山 茂章
- 0-78 スキルトレーナーを活用したシミュレーションプログラム：「オンコール@ ER」
SimClub 杉木 大輔
- 0-79 シミュレーション学習の開発と普及：医療教授システムの構築
獨協医科大学越谷病院 救命救急センター 池上 敬一
- 0-80 シミュレーション教育講習会のあり方～ICLS 指導者意識調査を元に～
名古屋大学医学部 大学院医学系研究科 病態内科学講座 血液・腫瘍内科学 杉浦 立尚

■ 12:00~13:00

ワーキンググループ会議

「パートナーシップ・プログラム」

司会 医療安全の心理学研究会 山内 桂子

■ 13:00～14:00 一般演題⑮

座長 東京大学医学部附属病院 救急医学講座 教授 矢作 直樹

- 0-81 危機管理医学と医療安全
佐賀大学医学部附属病院安全管理対策室 奥村 徹
- 0-82 医学部における医療倫理教育についての現状分析
国立保健医療科学院 政策科学部 計画科学室 児玉 知子
- 0-83 総合的で持続可能な救急蘇生法の教育システムの構築
神戸大学医学部附属病院医療安全管理室 江原 一雅
- 0-84 消防職員が考える ICLS 講習会の方向性 ～広がる今、職種別コース・プログラム変更は必要か?～
豊田市消防本部 大石 奨
- 0-85 トヨタ記念病院 ICLS 講習会 成功への道程 ～事務局から見たクオリティ・コントロールの重要性～
トヨタ自動車株式会社 メディカルサポート部 人事グループ 中馬実侑紀
- 0-86 愛知県済生会病院に心肺蘇生教育を導入した一人の看護師 ～患者を救え!熱意と努力が、医師と施設を動かした～
社会福祉法人恩賜財団済生会 愛知県済生会病院 看護部 佐久間あゆみ

■ 14:10～15:20 一般演題⑯

座長 慶應義塾大学病院 医療安全対策室師長・医療安全管理者 浦澤 智佐

- 0-87 医療安全教育プログラムにおける部署単位講習会の役割
岩手医科大学附属病院 菅野 玲香
- 0-88 病院内メディカルラリーの試み ー病院内でのインシデントを基にしてー
沖縄県立中部病院 上原 元
- 0-89 寸劇を取り入れた新人への安全教育
東名厚木病院 井草小百合
- 0-90 新人看護師のインシデントレポートから段階的医療安全教育の検討
仙台社会保険病院 扇谷 玲子
- 0-91 当院における危険予知トレーニングの現状と今後
特定特別医療法人 相澤病院 川上 弥生
- 0-92 新任者看護師のKYカードの取り組み
順天堂大学医学部附属順天堂医院 井上富士子
- 0-93 KYT を用いた看護職員対象の医療安全教育の試み
順天堂大学医学部附属順天堂医院 碓井 真紀

— 第5会場 G502 —

■ 9:00~10:20 ワークショップ8

「医療安全の監視（ビジランス）」

司会 日経BP社 日経メディカル編集委員 北澤 京子

WS8-1

独立行政法人医薬品医療機器総合機構 安全管理監 川原 章

WS8-2 医療事故情報収集等事業の現況について

財団法人日本医療機能評価機構 医療事故防止センター医療事故防止事業部 主任 坂井 浩美

WS8-3 透明性が最善の策 —医療の質安全を高めるための処方箋—

The Informed Prescriber 「正しい治療と薬の情報」編集長 別府 宏暁

■ 10:30~11:20 ワークショップ9

「患者の医療参加と Patient Advocacy」 ※日・英逐次通訳あり

Communication and Patient Advocacy

司会 九州大学大学院医学研究院医療経営・管理学講座 准教授 鮎澤 純子

Associate Professor, Department of Health Care Administration and Management, Graduate School of Medical Sciences

Junko Ayuzawa

医療の質・安全学会パートナーシッププログラム 代表 山内 桂子

Partnership Program's Representative, JSQSH Keiko Yamauchi

WS9-1 Patient participation and the role of patient advocacy

Program Manager, Center for Patients and Families Dana-Farber Cancer Institute MSW, LCSW Deborah E. Hoffman

WS9-3 米国における患者の医療参加と Patient Advocacy

東京医科歯科大学 岡本左和子

■ 14:10~15:30 シンポジウム3

「医療安全と情報」 ※日本医療情報学会との中継

司会 大阪大学大学院医学系研究科内科系臨床医学専攻医療情報学講座 教授 武田 裕

東京医科歯科大学歯学部附属病院 薬剤部長

土屋 文人

SY3-1

東京医科歯科大学歯学部附属病院 薬剤部長 土屋 文人

SY3-2 知的医療行為間連携による医療安全情報システム構築の試み

東北大学大学院医学系研究科 教授 根東 義明

SY3-3 医療の質と情報マネジメント

マサチューセッツ工科大学 秋山 昌範

SY3-4 医療情報学と医療安全学

大阪大学大学院医学系研究科内科系臨床医学専攻医療情報学講座 教授 武田 裕

— 示説展示会場 G608-G610 —

■ 13:10~14:00 示説発表質疑応答

- P-01 患者が受けたと認識している病気や治療の説明内容の現状
福井大学医学部附属病院 GRM 江守 直美
- P-02 看護師の点滴静脈内注射管理の危険予測
山形大学医学部看護学科基礎看護学講座 布施 淳子
- P-03 危険予知トレーニング (KYT) を活用した手術室におけるセーフティマネジメントの実践
中国電力(株)中電病院 折田 直子
- P-04 患者確認行動を習慣化するための取り組み
自治医科大学附属さいたま医療センター 尾身 直枝
- P-05 院内心肺蘇生報告システムの創設と安全体制の検証
国立循環器病センター 高田幸千子
- P-06 患者・家族の対応に関する「個人情報保護マニュアル」の活用と課題 面会および電話対応に関する実態調査
医療法人徳洲会 仙台徳洲会病院 大内 由花
- P-07 『医療安全』に関する外来診療のアンケート調査
JA 愛知厚生連海南病院 医療安全管理部 戸谷ゆかり
- P-08 「重症心身障害者の原因が特定できない骨折を経験した看護師の思い」
都立北療育医療センター 上原 幸子
- P-09 産科転院搬送受け入れ事例の検討 —医師・病棟間の連携—
富士重工業健康保険組合総合太田病院 小島 宏美
- P-10 愛知県内における二次医療圏内受療割合の特徴 —小児科と産婦人科を中心に—
愛知県医師会総合政策研究機構 勝山貴美子
- P-11 Discharge Support Team(DST) 活動による効果 —入院期間の長期化防止に向けて—
聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院 岡林 瑞代
- P-12 電子カルテシステムが医療安全に寄与したと考えられる 1 病棟例
国立国際医療センター 清水 利夫
- P-13 電子カルテにおける安全な持参薬管理の試み
ジャパンメディカルアライアンス東埼玉総合病院薬剤科 高木千恵子
- P-14 患者誤認防止を目的としたバーコード認証システムの導入と問題点
長野市民病院 多田 昭博
- P-15 チェックシートを用いた転倒転落報告 (2) ～転倒事例の具体的イメージの描出～
芳珠記念病院 村本恵美子
- P-16 精神科領域における転倒・転落事故のリスクファクター：アセスメントシートおよびポスター作成
よみうりランド慶友病院 中間 浩一
- P-17 チェックシートを用いた転倒転落報告 (3) ～臨床現場の疑問に答える～
芳珠記念病院 黒川 晴代
- P-18 『業務流れ図』を用いた時間分析法について
国際医療福祉大学 保健医療学部 放射線・情報科学科 土屋 仁
- P-19 経口用バンコマイシン® 誤投薬の経験から～Medical SAFER 分析からシステム改善を考える～
西東京中央総合病院 高橋 明美
- P-20 サテライト・ファーマシーでの薬剤管理 —退院後の薬の管理と他職種との連携—
みやぎ県南中核病院薬剤部 佐藤 伸輔
- P-21 経口与薬作業過程における失敗様式 —看護師の経口与薬作業過程の観察から—
東邦大学医学部看護学科基礎看護学研究室 中原るり子

- P-22 医療安全に主眼をおいた『総合医療情報システム』における薬剤情報の有効活用 — “見える化” から “見せる化” へ —
京都第二赤十字病院 薬剤部 岡橋 孝侍
- P-23 誤調剤対策の効果とオーダーリングシステム導入後の誤調剤への影響
仙台社会保険病院 薬剤部 千葉 貴志
- P-24 薬剤師の病棟業務
横須賀市立うわまち病院 薬剤部 岩壁 稔
- P-25 薬剤師が考える危険薬の調査
獨協医科大学病院薬剤部 岩瀬 利康
- P-26 注射自動払出機（ピッキングマシン）導入による医療安全の評価
東京都立広尾病院 木村 賢治
- P-27 当院における抗血小板剤・抗凝固剤の手術・内視鏡検査前の休薬の取り組み
京都民医連中央病院 清水 路佐
- P-28 注射と内服の指示から実施入力までのリスク比較
福井大学医学部附属病院 大北美恵子
- P-29 マルコム・ボルドリッジ国家品質賞受賞病院の医療の質経営の特徴の調査研究
小浦孝三技術士事務所 小浦 孝三
- P-30 患者によって体験・判断される医療事故の様相（第2報）：事故体験後の患者の感情・事故への評価の変遷について
千葉大学看護学部保健学教育研究分野 山本 武志
- P-31 医療安全風土調査 — 看護師、療法士、技師、薬剤師、医師の、医療安全に関する組織的課題 —
九州大学大学院医学研究院 医療システム学 松原 紳一
- P-32 患者によって体験・判断される医療事故の様相（第1報）：患者・家族の事故への対応・対処
東京大学大学院医学系研究科健康社会学専門分野 板垣 貴志
- P-33 当院における医療安全管理の現状と課題
川崎医科大学附属川崎病院医療安全管理室 末若美乃里
- P-34 eラーニングによる医療安全教材の開発と運用の課題
琉球大学医学部附属病院 安全管理対策室 久田 友治
- P-35 専任リスクマネージャー育成のための教育プログラムの開発に関する研究
太成学院大学看護学部 安川 仁子
- P-36 医療安全推進担当者の資質向上のために必要な教育プログラム — 専任リスクマネージャーのパートナーとしての能力を育むために —
独立行政法人国立病院機構福島病院 赤間 紀子
- P-37 研修計画を通して、医療安全への意識の向上を図る
滋賀県立成人病センター 宮下 孝子
- P-38 イベント報告書集計から見えてきたもの～リスク感性育成に着眼して～
(財)脳神経疾患研究所附属南東北福島病院 渡部真由美
- P-39 医学生は病棟実習で医療安全を学んでいるか — 医学部4年で医療安全演習を実施したその後
横浜市立大学附属病院 青木 昭子
- P-40 リスク回避のための採血技術チェック～一斉採血チェックを実践して～
国立循環器病センター 永見 紀子
- P-41 人工呼吸器装着患者の診療に対する意識調査
東京北社会保険病院 和井内 賛
- P-42 新人看護師へのFISH哲学を活用した関わり
東北大学病院 梶谷かおり
- P-43 患者急変対応チームトレーニング
獨協医科大学越谷病院 救命救急センター 井上 卓也

| | | | |
|------|---|---------------------------------|-------|
| P-44 | 研修医を対象とした手術時手洗い・ガウンテクニック研修の効果の検討 | 足利赤十字病院 | 小林由美江 |
| P-45 | 医療事故当事者（看護師）ダメージと学習構造から捉える安全システムの検討 | 川崎医療短期大学 | 林 千加子 |
| P-46 | Mass Casualty - Triage and Transport Training - 集団災害シミュレーションプログラム | 獨協医科大学越谷病院 救命救急センター | 井上 卓也 |
| P-47 | “One Night on Call” コース | 獨協医科大学越谷病院 救命救急センター | 井上 卓也 |
| P-48 | 米国ヘルスケアにおける Pay for Performance 実際 | 北海道医療大学 | 塚本 容子 |
| P-49 | 転倒・転落件数による診療アウトカム評価の試み | 国保松戸市立病院 | 青柳 律子 |
| P-50 | 高齢者医療施設におけるインシデントレポートを用いた看護業務のリスク評価 | 国立長寿医療センター | 鈴木奈緒子 |
| P-51 | イントラネットによる出来事報告の分析 | 姫路赤十字病院 医療安全推進室 | 植田多恵子 |
| P-52 | イントラネットによる出来事報告の活用 —出来事報告からシステム変更につなげた改善点— | 姫路赤十字病院 医療安全推進室 | 村田 文子 |
| P-53 | 歯科治療に伴う「誤飲・誤嚥」事例の集計と分析 | 東京医科歯科大学大学院 小児歯科学分野 | 三輪 全三 |
| P-54 | 歯科における全身麻酔時のインシデント | 東京医科歯科大学大学院歯学総合研究科 麻酔・生体管理学 | 宮本 智行 |
| P-55 | チェックシートを用いた転倒転落報告(1)～事例報告データベースの構築～ | 芳珠記念病院 | 光田 雅人 |
| P-56 | 医療現場におけるマンパワーの不足 —東北地方の病院・医師を対象としたアンケート調査結果から— | 東北大学大学院医学系研究科地域医療システム学（宮城県）寄附講座 | 金村 政輝 |
| P-57 | 当院における5年間の医療事故防止対策事業：システム，機器，施設，環境 | 鳥取県立中央病院 | 根本 良介 |
| P-58 | 患者視点の設備に関する調査 | 東京大学医科学研究所 | 田中 祐次 |
| P-59 | 医療の安全・質におけるメンタルヘルス対策 | 国立保健医療科学院 政策科学部 | 石川 雅彦 |
| P-60 | 今こそ院内助産院!! これぞお産の質・安全を保証するシステム | 奈良社会保険病院 | 西畑 康代 |
| P-61 | 亀田ファミリークリニック館山における保険診療による禁煙成功率 | 亀田ファミリークリニック館山 | 篠原 翼 |
| P-62 | 安全文化の醸成 当院での医療安全管理、臨床工学技士のかかわり | 医療法人晋真会ベリタス病院臨床工学科 | 阪梨 悟 |
| P-63 | 医療安全検討部会におけるワーキング活動の報告 | 亀田メディカルセンター医療安全管理室 | 古田 康之 |

国際シンポジウム “PEOPLE AT THE CENTRE” : 21 世紀の医療と医療システムを求めて
会場：東京国際フォーラム ホール棟 B ブロック
日時 2007 年 11 月 25 日 (日)

プログラム

| | | |
|-------------------------------|---|--|
| 8 : 30~9 : 20 開会式 会場：B7 (1) | | |
| 08 : 30 | 挨拶 | リンダ・ミラン WHO西太平洋事務局健康地域開発部長 高久史磨 医療の質・安全学会理事長 |
| | 祝辞 | ジョー・ハクネス 国際患者団体連合理事長 唐澤祥人 日本医師会会長 舩添要一 厚生労働大臣 |
| 09 : 05 | 基調講演 | 尾身 茂 世界保健機関西太平洋地域事務局長 |
| 9 : 20~12 : 30 全体会合 会場：B7 (1) | | |
| 09 : 20 | テーマ別プレゼンテーション (第1部) | |
| | テーマ1 : 「正しい知識・情報を持ち、権限を付与された個人、家族、地域社会」 | アンジェラ・コトラー 欧州ピッカー研究所所長 |
| | テーマ2 : 「有能で対応力ある医療従事者」 | アレジャンドロ・ディゾン フィリピン・セント・ルークス医療センター医療改善会議議長、外科局長 |
| 10 : 00 | 休 憩 | |
| 10 : 25 | テーマ別プレゼンテーション (第2部) | |
| | テーマ3 : 「効果的で効率的な医療組織・機関」 | ロビン・ヤングストン ワイタケレ病院 指導臨床医 (クリニカル・リーダー) ニュージーランド・指導臨床医協会 創設者/理事長 |
| | テーマ4 : 「『“人” が中心の医療』を支える医療システム」 | 金昌燁 大韓民国健康保険審査評価院院長 兼ソウル国立大学保健大学院保健政策・経営学研究室助教授 |
| 11 : 05 | パネルディスカッション | |
| 11 : 40 | 『“人” が中心の医療』に関する宣言 | |
| 12 : 00 | 高村正彦 外務大臣特別スピーチ | |
| 12 : 30~13 : 30 昼 食 | | |

**スローガンからアクションへ：「人」が中心の医療」をめざして
ーベストプラクティスの交流とワークショップー**

会場：B7 (1) (言語：日本語)

会場：B5 (言語：英語)

13：30～13：50 「新しい医療のかたち」 表彰式

紹介 大熊由紀子 (国際医療福祉大学大学院教授)

13：30～16：45

「人」が中心の医療」実現促進のための
国際行動計画 (WHO/WPRO)

13：50～16：45 医療安全推進週間公開フォーラム
「みんなで創ろう、私たちの医療ー患者・医療者・地域社会の取組み」

司会：

デーン・シュウエイ

WHO/WPRO保健サービス開発課長

ドン・マッセソン

ニュージーランド保健省国際課長

13：50～14：00

1. 開会の辞

岡本 浩二 (厚生労働省大臣官房参事官)

上原 鳴夫 (医療の質・安全学会第2回学術集会会長)

13：30 インTRODクシヨN

13：40

ベンデット・サラセノ

WHO精神保健・薬物乱用部長

14：00

ジョー・ハクネス

国際患者団体連合理事長

14：20

ジェームス・キリングスワース

ジョイント・コミッション・インターナ

ショナル専務理事

14：40

リアム・ドナルドソン卿

WHO患者安全世界共同行動プログラム

議長

14：00～15：20

2. 患者本位の医療をめざす患者・医療者・地域社会の取組み

司会 佐原 康之 (厚生労働省医政局医療安全推進室室長)

丸木 一成 (国際医療福祉大学大学院教授)

(1) 患者さんの取組み；本田麻由美 (読売新聞社記者)

(2) 医療機関の取組み；岡本左和子 (元ジョンズホプキンス大学病院Patient Advocate)

(3) 地域社会の取組み；前村 聡 (日本経済新聞社記者)

ー休憩10分ー

15：30 分科会

ファシリテーター

ビビアン・リン

ラ・トゥループ大学公衆衛生学部

スーザン・メルカド

WHO神戸センタープログラム

コーディネーター

15：30～16：45

3. パネル討議ディスカッション

「パートナーシップに基づく新しい医療のかたちを創るために」

司会 開原 成允 (国際医療福祉大学大学院院長)

山内 桂子 (医療の質・安全学会パートナーシップ・プログラム代表)

パネリスト

・デボラ・ホフマン

(ダナ・ファーバーがん研究所患者と家族のためのセンター)

・赤津 晴子 (ピッツバーグ大学 内分泌代謝内科 准教授)

・藤井 裕志 (下関市医療相談窓口 (下関市立下関保健所) 主任)

・伊藤 雅治 ((社) 全国社会保険協会連合会理事長)

・大平 勝美 (社会福祉法人はばたき福祉事業団理事長)

・「新しい医療のかたち」受賞団体代表

16：40 まとめ

10：30～16：00 併催展示：「私たちの活動」展 会場：B7 (2)

